

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 クエスト

コード番号 2332 URL <http://www.quest.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐藤 和朗

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 山越 千秋

TEL 03-3453-1181

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	3,430	3.6	112	35.8	124	31.8	76	23.3
25年3月期第2四半期	3,311	0.4	83	△14.1	94	△17.5	62	△12.0

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 115百万円 (87.4%) 25年3月期第2四半期 61百万円 (△10.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	14.82	—
25年3月期第2四半期	11.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	4,555	3,599	79.0	696.22
25年3月期	4,509	3,638	80.7	703.81

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 3,599百万円 25年3月期 3,638百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,250	7.0	350	37.5	360	34.2	200	12.8	38.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	5,487,768 株	25年3月期	5,487,768 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	318,064 株	25年3月期	317,927 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	5,169,774 株	25年3月期2Q	5,179,868 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は平成25年11月15日(金)に証券アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による金融政策及び経済対策への期待感から円高修正が進み、輸出企業を中心とした業績の改善が見られました。一方で円安によるエネルギー、原材料などの輸入価格の上昇、新興国の成長鈍化や欧米諸国における財政問題といった景気下振れリスクなどにより、依然として先行き不透明な状況で推移致しました。

当社グループ（当社及び連結子会社）の属する情報サービス業界においては、経済産業省の「特定サービス産業動態統計調査2013年8月分確報」の情報サービス業の項によると、8月の売上高は前年同月比0.6%の増加となり、ほぼ横ばいで推移しております。

当社グループを取り巻く経営環境は、経営のグローバル化やクラウドコンピューティング、スマートフォン・タブレット端末等のテクノロジーの進歩により急速に変化しております。このような環境の変化を新たな成長のチャンスと捉え、以下の施策を推進し計画達成に向けて邁進しております。

(a) ビジネス構造改革と循環型成長サイクルの確立

従来の時間精算で対価をいただくビジネスに対して、顧客にソリューションを提案していくビジネスや、成果物で対価をいただくビジネス領域を拡大することによってビジネスの構造を改革していきます。

また、①顧客に「ITシステムコンサルティング」等を実施して顧客の抱える課題を洗い出し、②「ソリューション」を提供することによりコンサルティングで洗い出された課題を解決し、③導入されたシステムの保守・運用の高度化を図りシステムの効率化を追求し、④安定した中で、オフサイト、ニアショア、オフショアなどの形態でアウトソーシングを実現していく、という流れを提案・提供することで、循環型成長サイクルを確立していきます。

(b) 戦略的事業モデルの強化

①ソリューション型事業モデルの創造、強化

- ・業務基幹システムと情報系分析機能を兼ね備えた「クエストERPソリューション」として、物流・製造業向け、案件・プロジェクト損益管理機能、SAPの置き換えなどにフォーカスします。
- ・営業支援、顧客管理アプリケーションを揃えた「業務向けスマートソリューション」では、Windows8対応OSのバージョンアップ対応、基本アプリケーションを拡充します。

②アウトソーシング受託事業の強化

- ・クエスト版クラウドデータセンターサービスとハイブリッド（常駐＋オフサイト）運用サービスを連携する「インフラアウトソーシングサービス」を提供します。
- ・顧客からの要望が増えている「ニアショア体制」を強化するとともに、加速する顧客ビジネスのグローバル化に対応した「オフショア体制」を確立します。

当第2四半期連結累計期間における業績の概況は以下のとおりであります。

売上高については、前年同期比3.6%増の34億30百万円となりました。利益については、営業利益は前年同期比35.8%増の1億12百万円、経常利益は前年同期比31.8%増の1億24百万円、四半期純利益は前年同期比23.3%増の76百万円と増収増益となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

システム開発事業については、主要顧客のIT投資抑制による影響があったものの、新規顧客の開拓及び新規開発案件獲得により、売上高は前年同期比1.2%増の17億12百万円となりました。セグメント利益は、増収効果及び請負開発案件におけるプロジェクトマネジメントの強化により不採算案件が減少したことにより前年同期比13.3%増の2億29百万円となりました。

インフラサービス事業については、大手電機メーカーグループ各社や情報サービス企業へのサービス領域が拡大し、売上高は前年同期比7.5%増の15億28百万円、セグメント利益は、増収効果により前年同期比9.9%増の2億38百万円となりました。

その他の事業については、売上高は前年同期比3.9%減の1億89百万円、セグメント利益はサービスマネジメント工数の増加などにより前年同期比48.6%減の12百万円となりました。

(注) 1. 「その他」の事業には、受託計算サービス事業、データエントリー事業及び商品販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益につきましては、全社費用等の配分前で記載しております。

※ニアショアとは、オフショアが海外でシステム開発や保守を行うことに対し、国内の遠隔地でシステム開発や保守を行うことを指します。首都圏等と比較して地方はコストパフォーマンスの面から優秀な人材を確保し易く、かつ物価が安いことなどにより、低価格でのサービスの提供が可能となります。

(2) 財政状態に関する説明

1) 資産、負債、純資産の状況

<資産>

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は45億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ45百万円増加しました。これは主に売掛金が55百万円増加したこと等によるものです。

<負債>

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は9億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ85百万円増加しました。これは主に未払法人税等が62百万円、買掛金が12百万円増加したことによるものです。

<純資産>

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は35億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ39百万円減少しました。これは主に配当金の支払等で利益剰余金が78百万円減少したことに対し、その他有価証券評価差額金が38百万円増加したことによるものです。

2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の四半期末残高は15億59百万円となり、前年同四半期末と比較し4億21百万円減少いたしました。

当第2四半期連結累計期間と前年同四半期とを比較した各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は以下のとおりであります。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動の結果、当第2四半期連結累計期間に得た資金は99百万円（前年同四半期は1億4百万円の収入）となり、前年同四半期と比較し5百万円収入が減少しました。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動の結果、当第2四半期連結累計期間に使用した資金は5億13百万円（前年同四半期は2億96百万円の収入）となり、前年同四半期と比較し8億9百万円収入が減少しました。これは主に定期預金の預け入れが5億円、投資有価証券の取得が2億5百万円発生したことによるものです。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動の結果、当第2四半期連結累計期間に使用した資金は1億55百万円（前年同四半期は1億55百万円の支出）となり、前年同四半期と比較し変動がありませんでした。これは主に配当金の支払額が前年とほぼ同額だったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月14日に公表いたしました通期連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,144,920	2,077,059
売掛金	856,779	911,917
有価証券	199,675	100,885
仕掛品	24,410	36,031
その他	203,511	216,577
流動資産合計	3,429,297	3,342,470
固定資産		
有形固定資産		
建物	132,679	133,595
減価償却累計額	△58,306	△60,143
建物（純額）	74,372	73,451
土地	69,864	69,864
その他	109,627	113,075
減価償却累計額	△88,060	△92,572
その他（純額）	21,567	20,502
有形固定資産合計	165,804	163,819
無形固定資産		
のれん	10,200	5,100
その他	83,033	78,054
無形固定資産合計	93,233	83,154
投資その他の資産		
投資有価証券	613,164	775,105
その他	207,579	190,486
投資その他の資産合計	820,744	965,591
固定資産合計	1,079,782	1,212,565
資産合計	4,509,080	4,555,036

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	126,334	139,006
未払法人税等	5,894	67,894
賞与引当金	229,752	262,497
プロジェクト損失引当金	639	1,898
その他	272,926	233,790
流動負債合計	635,546	705,088
固定負債		
退職給付引当金	217,832	231,951
役員退職慰労引当金	16,675	18,275
その他	461	461
固定負債合計	234,968	250,687
負債合計	870,514	955,776
純資産の部		
株主資本		
資本金	491,031	491,031
資本剰余金	492,898	492,898
利益剰余金	2,852,037	2,773,534
自己株式	△221,827	△221,922
株主資本合計	3,614,139	3,535,542
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,527	61,926
為替換算調整勘定	899	1,792
その他の包括利益累計額合計	24,426	63,718
純資産合計	3,638,565	3,599,260
負債純資産合計	4,509,080	4,555,036

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	3,311,817	3,430,405
売上原価	2,847,729	2,930,542
売上総利益	464,088	499,863
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	112,159	121,525
役員報酬	74,510	62,414
賞与引当金繰入額	19,903	22,279
退職給付費用	6,829	8,188
役員退職慰労引当金繰入額	1,066	1,600
その他	166,473	170,929
販売費及び一般管理費合計	380,942	386,937
営業利益	83,145	112,926
営業外収益		
受取利息	9,263	4,141
受取配当金	139	4,668
その他	1,837	2,907
営業外収益合計	11,241	11,716
営業外費用		
為替差損	97	374
その他	20	21
営業外費用合計	117	395
経常利益	94,269	124,247
税金等調整前四半期純利益	94,269	124,247
法人税、住民税及び事業税	5,428	67,110
法人税等調整額	26,737	△19,455
法人税等合計	32,166	47,655
少数株主損益調整前四半期純利益	62,103	76,592
四半期純利益	62,103	76,592

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	62,103	76,592
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△667	38,398
為替換算調整勘定	387	893
その他の包括利益合計	△279	39,291
四半期包括利益	61,823	115,884
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	61,823	115,884

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	94,269	124,247
減価償却費	31,280	29,455
のれん償却額	5,100	5,100
引当金の増減額 (△は減少)	△66,330	49,723
受取利息及び受取配当金	△9,403	△8,809
売上債権の増減額 (△は増加)	239,635	△55,138
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△19,287	△11,620
仕入債務の増減額 (△は減少)	△61,556	12,672
その他	△64,445	△51,056
小計	149,262	94,574
利息及び配当金の受取額	9,911	10,162
法人税等の支払額	△54,631	△12,862
法人税等の還付額	—	7,517
営業活動によるキャッシュ・フロー	104,542	99,392
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△500,000
有価証券の償還による収入	300,000	200,000
有形固定資産の取得による支出	△3,275	△5,139
無形固定資産の取得による支出	△4,163	△2,279
投資有価証券の取得による支出	—	△205,577
その他	4,070	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	296,631	△513,002
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△41	△96
配当金の支払額	△155,361	△155,051
財務活動によるキャッシュ・フロー	△155,402	△155,148
現金及び現金同等物に係る換算差額	387	893
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	246,158	△567,865
現金及び現金同等物の期首残高	1,734,651	2,127,607
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,980,810	1,559,741

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。